

新プロジェクト始動！熊の前オリジナル食育ソング作り♪

今年度からスタートした新たなプロジェクト、それが「熊の前オリジナル食育ソング」の作成です。6年生が、「音楽づくり」の単元で挑戦しています。作詞作曲すべてを6年生が行います。平林先生から指導を受けながら、すてきな食育ソングをつくるべく奮闘した記録です。

<ミッション1 じゅんかんコードで旋律づくり>

様々な楽器を使いながら、自分たちが考えた旋律を演奏しています。初めに循環コードについて理解するために鍵盤楽器で低音と和音を繰り返し練習しました。そして同じコード（和音）進行が繰り返されていることを知りました。



次に、和音の構成音から、短い旋律を4種類考えました。コード進行に合った旋律を木きんやオルガンなどの楽器を使ってつくっていきます。音と音のつながりを考え、弾きながら試行錯誤してつくる姿が見られました。



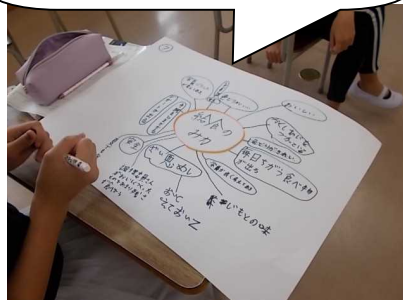
<ミッション2 テーマにそった言葉集め>

旋律がまとまってきたところで、歌詞をつくるためテーマにそった言葉集めをしました。テーマは、1組が「給食の栄養&食文化」、2組が「デザート」、3組が「給食の魅力」、4組が「給食準備&マナー」です。子どもたちの中から、食育の授業で学んだことや、給食中の出来事、「給食あるある」などたくさんの言葉が集まりました。

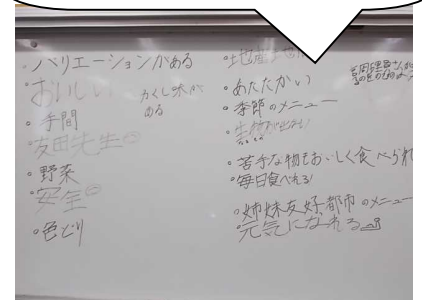
「おいしい」以外の給食の魅力って何だろう？



まだまだあるかな?! 給食を思い出してみよう!



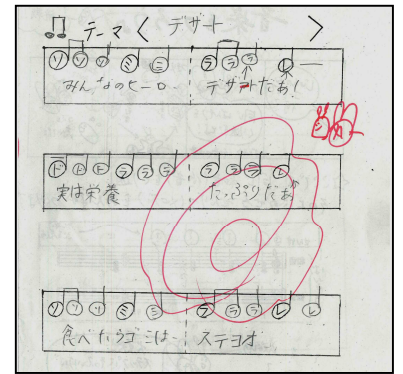
こんなにたくさんの言葉が集まりました!



<ミッション3 言葉に合わせてリズムを変化させよう>

最後に、言葉に合わせて旋律のリズムを変化させていきます。ここが一番難しいところで、言葉に合わせてながら、例えばデザートなら『♪♪ = デザート』などと変化させていくのです。

初めは頭を悩ませていた子どもたちも、楽しみながら歌詞を考える様子や作った旋律と伴奏を友達と合わせる頼もしい姿が見られました。

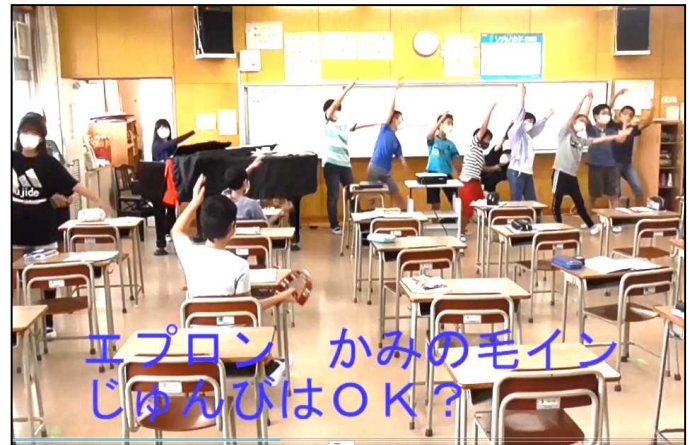


<ミッション4 クラスみんなで食育ソングを完成させよう>

完成した食育ソングは、歌チームと演奏チーム（旋律チーム、低音チーム、和音チーム、リズムチーム）に分かれ、クラス全員が関わってレコーディングを行いました。どのクラスもとても楽しそうにレコーディングをしていたのが印象的でした。



<6-2 デザート食育ソングより>



<6-4 給食準備食育ソングより>

今後、食育ソングのミュージックビデオもつくり10月末には給チューブで全校に披露する予定です。オリジナルの食育ソングができることで、熊の前の子どもたちが親しみをもってマナーや栄養、食文化について学ぶことができると思います。

「くまっ子のみんながおうちで口ずさんでくれる日が来るといいなあ…」と、指導にあたった平林先生と共に願っています♪



給食ごぼれ話

— かける？ かけない？ —

給食の献立には、焼き焼きどんのようなどんぶり献立、まぜまぜジャンバラヤのような混ぜる献立などがあります。ごはんが進むように、かけたり混ぜたりする献立を充実させているのですが、「こどもでも食べ方に教室を回りながら、「今日は混ぜるメニューだよ」とアピールしても、首を振って全力拒否する子がちらほら。食後に話を聞くと「白いご飯が好きなので混ぜたくありません」との返事が。「ごはんは白いまま食べたい」「かけない派」は、各クラスに一定数います。白いごはんのおいしさが分かっているのはすばらしいことです。米ラブ派と言っても良いかもしれません。かける派もかけない派も、おいしそうに給食を食べている姿が見られることが幸せだなと感じています。

